



# 四季報



LOKホールディングス  
vol.65 令和8年1月31日発行 編集長代理 小林 総恵

## 首藤会長

# LOKホールディングス

## 小林社長

新年明けましておめでとうございます。

本年は、新年早々に国政選挙があり、「働いて、働いて、働いて、働いて、仕事をする」そんな政権だとも言われています。

私たちにも、同じことが求められているような気がします。しかし、がむしゃらに働けば良いかというと、それだけではないようにも思います。

やはり大切なのは、しっかりと計画を練り、それを実行していくこと。

現状に甘んじることなく、一歩先へと歩み出すことが大事だと感じています。

2026年が、みなさまにとって一歩前へ前進できる年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



## (株)エイコーテック

社長 陰地 豪

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、皆様より温かいご支援とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年は、資材価格の高騰や人手不足など、建設業を取り巻く環境が依然として厳しい一年となりました。そのような中でも、現場で汗を流す社員一人ひとりの努力と、取引先の皆様に支えにより、無事に一年を乗り越えることが出来ましたことを、深く感謝申し上げます。

本年も、安全と品質を最優先に、一つひとつの仕事に真摯に向き合いながら、地域や社会に貢献できるものづくりに取り組んでまいります。また、働きやすい職場環境づくりや人材育成にも力を入れ、将来を見据えた企業づくりを進めてまいります。

本年が皆様にとって明るく実り多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げますとともに、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 愛知人財育成事業協同組合

事務局長 林 晃司

LOKホールディングスの皆さま、お疲れ様です。旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2026年もより一層の努力を重ねてまいりますので、変わらぬご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。さて少子高齢化や労働力不足に対応するため外国人政策についても厳しく規制するような話題が取り上げられております。技能実習制度改め育成就業制度も入国基準や入国してから2年目以降の在留更新のハードルが上がるような基準が議論されております。また私見ですが外国人にとって厳しいだけでなく、受入れる団体・組合も監理体制が整っていないのであれば今以上に淘汰される制度となっている気がします。本年も気を引き締め、より一層精進してまいります。

新年、明けましておめでとうございます。今年もインフルエンザやコロナが流行していますので、どうか体調に気を付けて仕事を頑張ってください。

選挙があると仕事の見通しが立たないと言われております。会社の景気の先行きも不透明ではありますが、\*\*LOKホールディングスは、皆さんの支えのおかげで昨年の1割増しまで伸ばすことができました。\*\*本当にありがとうございます。

急運グループは2019年8月までは売り上げも順調でしたが、コロナの影響により2019年9月から売り上げが下がりました。2020年の売り上げは、2019年と比べて約2億円の差がありました。

しかし昨年10月、(株)東海急走、(株)エイトエクスプレス、(株)ライトの3社は、会社設立以来の最高売り上げを達成し、さらにライトは12月にも最高売り上げを更新しました。皆様のおかげで、急運グループはコロナ前の売り上げまで回復することができました。

売り上げが伸びている会社は、そのままさらに伸ばしてください。まだの会社は、コロナ前の売り上げまでしっかり頑張っていきましょう。

## (株)ケイテック

社長 山内 英一

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

毎年ですが、あっという間の一年でした。

昨年は仕事量のほうもコロナ前に近づいては来ているように感じました。

ただ人手不足は相変わらずの中、本年一人ですが新しいスタッフが入社となりました。

新しい風となるよう本年も頑張っていきますので、宜しくお願い致します。



### <<新入社員>>

杉山 寛能さん  
すぎやま ひろたか



## エイコー仮設工業(株)

社長 北原 五郎

LOKホールディングスの皆様明けましておめでとうございます。今年も無事に新年を迎えることができ大変うれしく思います。

ご承知のように、今年は午年(うまどし)です。午は、十二支のなかでは7番目に数えられ、午は成長や成功・繁栄のシンボルとして、縁起がよいものとされています。

2026年はエイコー仮設工業株式会社も馬車馬のように“働いて、働いて、働いて”“行きたい”“と思っていますので宜しくお願い致します

昨年もお話しましたが、農業はだいぶ「農業らしく」なってきました。農業法人(株)農楽の目的は、規則通りに働けない、無理ができない、毎日働けない、そんな時のために農業という選択肢を作ることです。体調の良い時にできる、家庭菜園に近い農業だと思っています。老後、年金だけでは生活が難しい方にも、農業は良い選択だと思えます。

農楽は稲沢市で耕作放棄地の畑を借り、中川区の伝統野菜「野崎白菜」に挑戦しました。失敗を重ねながら、2023年より「木曾路」さんへ納品できるようになりました。キャベツも栽培し、中華屋さんやトンカツ屋さんにも納品しています。

夏は、里芋・かぼちゃ・じゃがいも・さつまいも・玉ねぎ・きゅうり・ナス。冬は、野崎白菜・キャベツを栽培しています。売り上げも徐々に伸び、お客様も増えてきました。1人より2人、2人より3人になれば、まだまだ皆さんのことができると思えます。常に収穫し、販売していきたいと考えています。老後の選択肢として、農業もぜひ考えてみてください。

キッチンカーの稼働がまだ少ない状況です。木曜日・金曜日・土曜日に、長良倉庫の前で販売しています。

皆様も健康に気をつけて、今後ともLOKホールディングスをよろしくお願いいたします。



## (株)LOKセーフティーネット

社長 清水 啓任

株式会社LOKセーフティーネットの清水です。会社設立から1年が過ぎようとしておりますが、この1年小林社長始め多くの皆様方からご支援やご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて昨年の県内治安情勢につきましては、刑法犯認知件数が55,000件を超え、前年と比べて1割増加し、4年連続で増加傾向にあります。

特殊詐欺も増加し被害額は90億円を超え、SNS型詐欺は170億円超え、自動車盗と侵入盗は不名誉な全国ワーストワンとなってしまいました。

本年もこの傾向がまだまだ続くと思われるので、皆さん、日常生活でも十分気を付けて、防犯意識を高めていただきたいと思います。

昨年の交通死亡事故につきましては、116名で全国7番目、前々年と比べて20.6%減、少し良い傾向でした。

しかし、本年に入り、交通死亡事故が増加し、1月27日現在死者が9名、昨年と比べ50%増、先日まで全国ワーストワンとなっていましたので、非常に厳しい現状であることを今一度、再認識していただきたいと思います。

また、本年4月の道路交通法改正により、自転車の交通違反に交通反則通告制度が適用され、青切符処理となりますので、十分気を付けていただきたいと思います。

最後に、2月からは会社のスタッフも4名体制となります。

これまで以上に、安心、安全、危機管理業務の拡大、充実を図ってまいりたいと思っておりますので、皆様方にも、ご支援よろしく  
お願い申し上げます。



# みつばちハッチさんのフリートーク

## (株)東海急走

社長 田口 志郎

2026年も早くも1月が終わろうとしています、歳を重ねるごとに月日の流れをより一層早く感じるようになりました。  
昨年、燃料の暫定税率廃止という、運送業に従事する私たちにとって大きな恩恵がありました。国のリーダーが笑顔でいると、生活に活気と明るさが戻ってきた気がするのには私だけでしょうか。  
物価や金利が上がり続ける今、それに対応できる売上を作るとともに、仕事の質も同時に高めていく必要があります。最後は「人」ですね。  
どうか今年も一年、笑顔で頑張っていきたいと思います。

高橋 謙一

皆様日々のお仕事ご苦労様です。  
高校2年生の次男は、岐阜の高校で寮生活を送りながらソフトテニスを頑張っています。小1から競技を始め、高校もテニスで入学しました。1・2年と運良くインターハイに出場でき、今は最後の夏に向けて毎日汗を流しています。  
先日、伊勢での東海大会では団体戦で優勝。個人戦はベスト16でしたが、同級生ペアが優勝し、校としてはダブル優勝を飾れました。全国大会も決まり、練習はさらに熱を帯びています。  
小1から中学まで週4日の平日と土日の練習を続け、今も毎日ラケットを振れるのは「好き」だけではなく、彼なりの目標があるからだと感じます。私も息子に負けないよう、明確な目標を掲げて日々を過ごしたいです。



## 農業素人道場(株)農楽

農場長 岩谷 昌治

皆様お疲れ様です。改めまして新年明けましておめでとうございます  
今年も宜しくお願い致します。  
今年株式会社農楽5期目に入ります。去年くらいからある程度の流れ道筋が見えてきました。後自分がやるべきことは去年の収支を把握して無駄を省き野菜の生産運送 キッチンカーの計画をたて 人材を増やしてその方の売上を作り生活していくにはどうしていけばよいのか うまく午前 午後の仕事の組合せ等 考えなければその方と自分の生活が成り立ちません 少しずつでも会社にプラスになるように考えなければ先が見えないのでまず計画をたてやってみて駄目な所は改善しながら進めていきたいと思っています。  
組織のお荷物にならない様に常に先のことを考え行動していきたいと考えています。

## (株)エイトエクスプレス

専務 大堀 武宏

LOKグループの皆様明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。  
昨年の10月は、2019年11月以来6年ぶりに売上2000万円を達成することができました。  
コロナの影響が完全に無くなるまで時間がかかりましたが、これから新たな目標を持って売上を伸ばしていきたいです。

今年は野球の国際大会のWBCが3月に開催されますが、個人的にとっても楽しみです。  
今まで5回行われ、日本は3回優勝しています。イチロー、松坂などが活躍した第1回2006年(王監督)と第2回2009年(原監督)、大谷、村上などが活躍した第5回2023年(栗山監督)です。  
どの大会の試合も仕事が手につかないほど気になった記憶があります。  
今年の大会も大いに期待できますが、仕事には集中していきたいです。



## (株)タクト

理念とビジョンの共有から生まれる一体感

社長 永田 剛史

2026年がスタートしました。タクトでは、社内理念を共有し、自分の将来、会社の将来、その達成に向けてのマインドセットをさせていただきました。社長である私の想いや言葉では、伝わらない部分を成文化することで、私自身もその場の感情や、情勢ではなく統一した考えの元で行動できていると思っています。  
皆さんは、運送の仕事を通じて収入を得ています。しかし、将来どうなりたいかと聞かれたとき、明確に答えることができるでしょうか？私自身の経験からも、日々の多忙に追われ、気付くと1か月が経っていて、また多忙な時間を過ごし、気付けば、がむしゃらに1年が経過していました。20代まではそれでもいいかもしれませんが、30代を超えたとき、自分の10年後、20年後、さらには老後と言ったことを考えたとき、今のままでいいのか？と自問自答しました。それは、加齢による衰えは誰もが通る道だからです。目の前にある売上を大切にしながら、将来の売上(営業)を考える。同時にそれをこなすことは出来ないと、多くの方が思うはずです。しかし、実際には簡単なことで、頭を使って目先の仕事をするだけです。もっとお客様に喜んでもらうにはどうしたらいいか？もっといい運搬方法はないか？配送途中に見かけた会社に対して、どのような物流サービスが出来るか？そんなように頭を使っていれば、自然と自分の先行きを考え行動が取れるようになってきます。入社して1年以上経っている方は、是非そのようなマインドで日々の業務を行ってみてください。  
新年を迎え、新たなことに挑戦しがちですが、昨年までの自分の頑張りはそのままに、頭の中の考え方を考えるだけで、大きく成長できると思います。あなたの考えを変えることができるのは、あなたしかいません。共に成長していきましょう。



## (株)Lite

社長 小杉 祐紀

今年も1月18日に新年会が催され今年もLite全員参加する事ができました。  
ありがとうございました。  
改めましてグループの皆様、明けましておめでとうございます。  
今年も一年、よろしくお願ひいたします。

昨年はメンバーさんの人数が減ってしまい、一人一人に掛かる負担が大きくなってしまいました。その中でも皆が協力し、協力業者さんにも助けていただき、何とか乗り越えてこれました。しかし本当にぎりぎりの状態で回っているのが現状です。少し余裕を持った配車が組めるよう、そこからさらに売上を伸ばして行けるよう、とにかく人の確保を最優先に考えていかなければいけません。  
幸いにもメンバーさんの丁寧な仕事ぶりを評価して頂き、仕事のオファーは絶えません。「いつも助かっています」「もっと台数入れてよ」挨拶に行くとき必ず言って頂きます。引き続き今年もおお客様の信頼を得られるようメンバーの皆さん、よろしくお願ひいたします。  
後はとにかく人です。働きたい、働かないといけなくて何をしたいかわからない、周りにこのような方いらっしゃったら是非、ご紹介下さい。Liteと一緒に盛り上げていってくれるメンバー大募集でございます、よろしくお願ひいたします。  
そして2026年もグループ一丸となって頑張っていきたいと思います！



## (株)パートナーズサポート

社長 伊藤 俊一

年明けの元日にフリーアナウンサーの久米宏さんが亡くなった。前職時代、同業の大先輩だった。人心をつかんで離さない話術の巧みさと番組進行の手際の良さでそれまでのテレビ番組のあり方を変えた。私が感銘を受けたのは、ほとんどアドリブで台本を使わないこと。言葉尻をとらえられることの多いキャスターにとって、台本がないのは通常考えられない。思ったことをその場に応じて表現し、それで失言しないというのは至難の業で、いかに久米さんの意識が高かったかを物語っている。

ニュースステーションと一緒に仕事をした当時の海外支局長は、久米さんは画面に映りこむあらゆることを見逃さず、現場からの中継をしようと準備してきた内容が無駄になってしまうことが少なからずあったと話す。重い空気が、背景映像の、あれは何？という質問で吹っ飛ばされ、視聴者が知りたいことを見抜いた報道になったという。

60年ぶりに衆議院が国会を冒頭解散するという。前回選挙からわずか1年4カ月での解散は支持率が高いうちにといい姑息な戦略だろう。統一教会とのつながりや裏金についての追及逃れという政治家たちの保身が準備期間なしの無謀な選挙を決断させたともいわれる。その解散を決断した高市首相はかつて総務相の時に「放送局が政治的公平性を欠いたと判断される番組を繰り返し放送した場合、電波停止を命じる可能性があります」と語った。

久米宏さんはそうした発言に対し報道規制が戦争につながる危険を憂い「高市発言は絶対に間違っています」「政府を徹底的に批判する放送局があつてしかるべきなんですよね」  
「僕はやっぱりねNHKは独立した放送機関になった方が、ていうか、なるべきだと思うんですやっぱり人事と予算で国家に首元を握られている放送局があつちやいけなくてすよ、先進国であつてはいけません。早く危険だと気付いてほしいと思いますね」。  
久米宏さんの冥福を祈る。合掌